

入選

「反抗期」

中札内中学校 一年 三上 杏莉

私には姉がいる。四歳もはなれた年だ。昔、私が小学四年生の時、姉は中学二年生だった。

ある日の夜、私がリビングに行く姉と母は何かでもめていた。どんどんもめごとがエスカレートしていった。ついに大げんかになってしまった。家には父がいなかった。ついには母が

「おまえには二度とご飯なんて、作らない」

といって姉は部屋から出て行ってしまった。私一人ではけんかをとめられなかった。

おそるおそる母の顔を見ると

「私、ひどいことしちゃった」

と言いながら泣いていた。

私も泣き出しそうになったから、姉の様子を見にいった。部屋に入ると姉の周りには、丸まったティッシュがころがっていて、鼻水をすすらせながら勉強していた。私は

「ママがあやまってるよ」

「はやくあやまろうよ」

と、しつこく、いいつづけていたから、あの時の

私はうるさかっただろう。けれど姉はなにもいわずにだまっていた。

その後は、お互いになにもしやべらずに暮らしていた。けど母は高血圧で弱っていた。

自分で着がえられないほど動けなかったから、私は手伝いをしたが自分自身もつらかった。

そこで父は、出かけた時に血圧を下げるドリンクをかってきてくれたり、サポートしてくれた。

やっと、少し血圧が下がったから母の調子は少しよくなった。母と姉は少しずつ、会話が増え、仲がよくなった。

最近では、家族で笑うことが多くなったと思う。

そして今、私は中学一年生、いつ反抗期になるかわからない。反抗期はしかたがないことだと思うが、けんかをおこしたくないと思うから、いらしてもがまんして、平和に暮らしたいといつも願っている。